

令和5年第3回定例会委員意見概要及び提言の方向性について

前回（10月2日）の特別委員会において、重点調査項目に関して出された各委員の意見概要は以下のとおりであり、これらの意見を総合し、委員会としての提言の方向性をまとめた。

重点調査項目2 発災時における対応力強化に向けた取組について 災害対応力強化に向けた取組について

意見概要		提言の方向性	
①	集中豪雨等による下水管からの内水氾濫が発生しやすい地域が存在するため、該当地域への取組のさらなる強化を図るべき。（大野委員）	1	【内水氾濫対策の強化】 内水氾濫が発生しやすい地域への取組のさらなる強化に努め、被害の軽減を図るべきである。
②	東京都が進める城北中央公園調節池の整備により、治水効果の向上が期待できるが、区民の施設に対する認知度は低いと考えられる。事業概要や効果等について、区においても広報を行う必要がある。（くまだ委員）	2	【調節池に関する周知・広報】 石神井川流域の水害対策において大きな役割を果たす城北中央公園調節池について、区民に向けて事業概要や効果等の広報を行うべきである。
③	水害発生時は、避難指示等をはじめとした情報を区民へ速やかに伝達することが重要である。東京都との連携体制の強化に加え、区自らも率先して情報を収集することで、正確な状況把握と迅速な発信に努めるべき。（石川委員）	3	【水害時における迅速な情報伝達】 水害発生時に区民の安心・安全を守るためには、東京都との連携体制の強化に加え、積極的な情報の収集と正確かつ迅速な情報提供に努めるべきである。